



芸豪烈伝その27
 京山福太郎
 きょうやま・ふくたろう
 浪曲が持つおもしろみを、
 ささまに追求したい

文・おさだ衛

きょうやま・ふくたろう 本名・福本一光。徳島県徳島市出身。1954（昭和29）年4月1日生まれ。父は浪曲師の京山隣昇、母は曲師の京山みつゑ。17歳で京山幸枝若に弟子入り。昭和48年、姫路市あずみパラダイスで初舞台。『雷電と八角』を読む。現在は浪曲教室やカラオケ教室も主宰している。身長165センチ、体重75キロ。十八番は『会津の小鉄』『左甚五郎』ほか。モットーは「おこらず、たかぶらず」

親と子。浪曲の題材でも義理や人情、恩返し、出世物語と並ぶ定番だ。

親子であるがゆえの幸福や葛藤はすべての人間に共通するテーマだ。

京山福太郎は最近、父親は京山幸枝若（91年没、65歳）と公言するようになった。これまでは育ての親である京山隣昇（りんしょう。81年没、57歳）に気遣いをしていたのだ。

「幸枝若師匠は『美しく咲いた花見て喜ぶよりも咲かせた根元の恩を知れ』という言葉が好きで、私に一日でも育ての親の恩を忘れるなど言っていたんです。私は「知りながら つい忘れが



25歳。テレビの「しごき教室」。左は、やすきよ。右の曲師は母親の京山みつゑ（90年没、66歳）。名曲師として福太郎をリードした。

ち親の恩」になってしまっただけ、これではいけないですよね」

福太郎は高校時代、友人から幸枝若のテープを聞かされる。福太郎は家業である浪曲に好感を抱いていなかったが、幸枝若のそのテープ「験の母」を聞いて電撃のようなショックを受ける。

幸枝若は面白い、素晴らしい！
 幸枝若に熱中した息子を連れて母親（京山隣昇と再婚していた）は幸枝若に会いに行く。

「若、この子が生後7か月の時に別れた子や」「そんなこといいなや」という、やりとりがあつて福太郎は幸枝若に入門。

「師匠は芸は教えてくれませんでした。芸でも生き方でもすごい人でした。

芸でいうとネタは演じるたびにやり方を変えるんです。同じやり方に飽きるんですね。あるときは即興でおもしろい部分からさかのぼって演つてました。天才ですね」

幸枝若の芸はカセットテープやビデオでのしごきができる。

「師匠は遊ばない芸人は色気がないといつてました。酒、マジジャン、ポーカーと半端ではなかった。落語の初代・桂春団治が好きだったんです」

宵越しの金を持たない信念の幸枝若の酒のエピソードをひとつだけ。

「師匠はスナックやバーを一軒が30分

ぐらいで一晩に5、6店をはしごするんです、一族郎党を引き連れて。

私が20歳ころ、あるバーでアイスベルにウイスキーをなみなみと注がれて、師匠にぐーっといけと言われて飲みました。30分後、別の店でまたアイスベルにウイスキーで、ぐーっといけと。師匠の命令ですからね。3軒目で私はダウン。急性アルコール中毒ですわ。救急病院で手当てを受けました。治療を受けてる私の傍で師匠が医者にいつてるんです。「飲むな、飲むな」というのに、こいつあほですもん」ですよ」。幸枝若の茶目っ気と凄みを示す



21歳。「演歌浪曲の星」として華々しく売り出してた頃。右は京山幸枝若。「師匠は親分肌でして酒だけでも、お金は梅田にビルが建つほど使っていました。何歳分以上の人生を生きたひとでした」。右は故・林家小染。

話だが平然と飲む福太郎もスゴイ。

この取材で福太郎は仕方ばなしで幸枝若の楽しくて驚くべき逸話をたくさん披露してくれたが、誌面の都合があり割愛します。残念なあ。

福太郎師は今後、どう進むんですか。

「師匠が偉大すぎて、しんどいですわ。開き直りですね。ははは。」

古典ネタは師匠にとっても、かないません。私は私で、いろいろな形に挑戦してみました。服にしてもアロハシャツでも袴でもいいし、バンドで浪曲を演ってみたいです。新幹線が時速300キロの時代です。スピード感を意識して浪曲本来の楽しさに新味を加えてファン層を20代、30代にひろげたいですね」



河内音頭もこなす福太郎だがレコード歌手としても活躍している。いま歌っている曲は藤山寛美を描いた「浪花の華」(日本エンカフォンレコード)。豊かな声量と軽妙な小節まわしに味がある。

5月5日、大阪は近鉄劇場大ホールにて「京山幸枝若しのぶ会」が開かれる。福太郎のほか幸枝若、幸若などが出演。幸枝若の七回忌の法要がわりの春一番特別公演だ。(詳しくは本誌15ページ)

福太郎師の周囲では二代目・幸枝若襲名のはなしも出ているが、

「師匠の大きな名前を継ぐと正統的におさまってしまうそうで。ギター持った漫談浪曲など、やってみたくことを、ある程度なし遂げてから考えます」わかりやすさとリズム感が身上だった幸枝若の魅力は福太郎に継承されている。関西浪曲界の期待の若獅子・京山福太郎が担う責任は大きい。

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと思います。

30
—
52

浪曲家の皆さん…頑張ってください。
多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉